

21世紀の日本のかたち（135）

2022年、晩秋



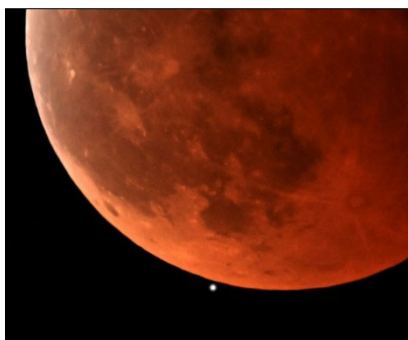
戸沼幸市
〈(一財)日本開発構想研究所 顧問〉

1. 皆既月食と惑星食

満月がすっぽりと地球の影に隠れる「皆既月食」と、その月で天王星が隠れる「天王星食」が、11月8日の夜、私の住む光が丘公園からも午後7時16分ごろに見られました。

日本では前回は1580年7月26日の「土星食」で442年ぶり、次の「重なり」は322年後の2344年7月26日の土星食とか。人間が住む地球も天空の一つの星であると思知らされませぬ。

写真1 皆既月食と月に隠れる直前の天王星



資料：朝日新聞 2022.11.9

2. アメリカ・中間選挙（2022年）

11月8日、2年に一度のアメリカ議会の中間選挙が行われました。アメリカの政治動向は多方面に影響が大きく、世界的にも注目されました。

結果は、バイデン民主党が上院（定数100）の50議席を確保（上院の採決ではハリス副大統領が可否の決定権を持つ）しました。

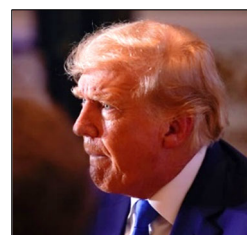
下院は11月14日の時点で、共和党212議席、民主党204議席。共和党はトランプ前大統領が前面に出た選挙戦でしたが、共和党圧勝の選挙前の予想に反して民主党が善戦との大方の評価です。ロシアのウクライナ侵攻に対するアメリカの体制、日米韓などの協力関係

写真2 バイデン米大統領
（訪問先のプノンペンで）



資料：朝日新聞 2022.11.14

写真3 トランプ前大統領
（米フロリダ州で）



資料：朝日新聞 2022.11.14

の構築など、アメリカの政治的継続性がひとまず担保されることになりました。

(上院最後の1議席も民主に 12月6日)

3. 日中首脳会談

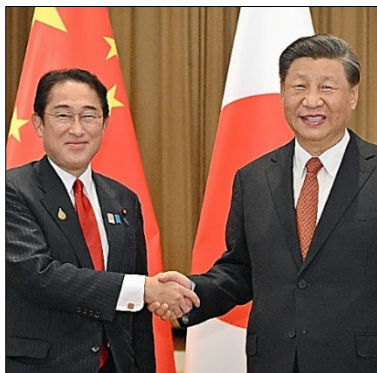
11月17日、日本・岸田文雄首相と中国・習近平主席がタイのバンコクで、東アジア首脳会議の場を利用して会談したことが報じられました。この9月に日本と中国の国交50周年に両首脳がメッセージを交換して間もないことです。45分の会談では、台湾問題、尖閣諸島問題なども含めて率直な意見交換があった様子です。

中国側は、中日関係の重要性は変わる事はないとし、以下の5項目にまとめて発表しております。

- ・ 経済ハイレベル対話を早期に行い、予想可能なビジネス環境を提供する
- ・ 政府、政党、青少年などの往来
- ・ 交流を積極的に展開
- ・ 海空連絡メカニズムのホットラインを早期に開設し、防衛や海岸に関する部門の意思疎通を強化
- ・ 世界と地域の平和と繁栄を守る責任を共に担う

写真4 会談の冒頭

握手する岸田首相と習国家主席



資料：朝日新聞 2022.11.18

岸田文雄首相も、一呼吸して、対中国に大きく構想を立ててほしいものです。

4. ロシア・ウクライナ侵攻

ロシアによる不条理なウクライナ侵攻が始まって、11月24日、9ヶ月になります。冬に向かう季節、ウクライナの反撃が続いています。

【朝日新聞記事より】

10月26日 ウクライナ復興「21世紀のマーシャルプランを」巨額支援へ独首相から提唱。

10月27日 核の脅し高まる緊張、米、核使用を強く牽制、欧州、抑止策に乱れも、仏「核では反撃しない」明言。続く苦戦（ロシア）進む「戦時体制化」

11月5日 ウクライナ侵攻、奪われた電力、迫る冬
計画停電「調理できぬ」、生活標的施設攻撃で断水も、頼みの都市暖房被害、「暖かい服、窓の目張り用意を」。

11月7日 ウクライナ、450万人以上電力使えず。南部ヘルソン州、各地で停電や断水。ロシア動員兵、戦闘拒否続出

11月8日 ロシア国内渦巻く不満。動員のリアル伝えない国営テレビ。外資撤退、値上がり。政策変わらず。支え合う介護、おせっかいの輪。

11月11日 ロシア軍ヘルソン撤退、プーチン政権へ大打撃。新兵に犠牲、国内世論を考慮。ウクライナ側は慎重に進軍。

11月12日 ドニプロ川の西岸、ロシア撤退完了

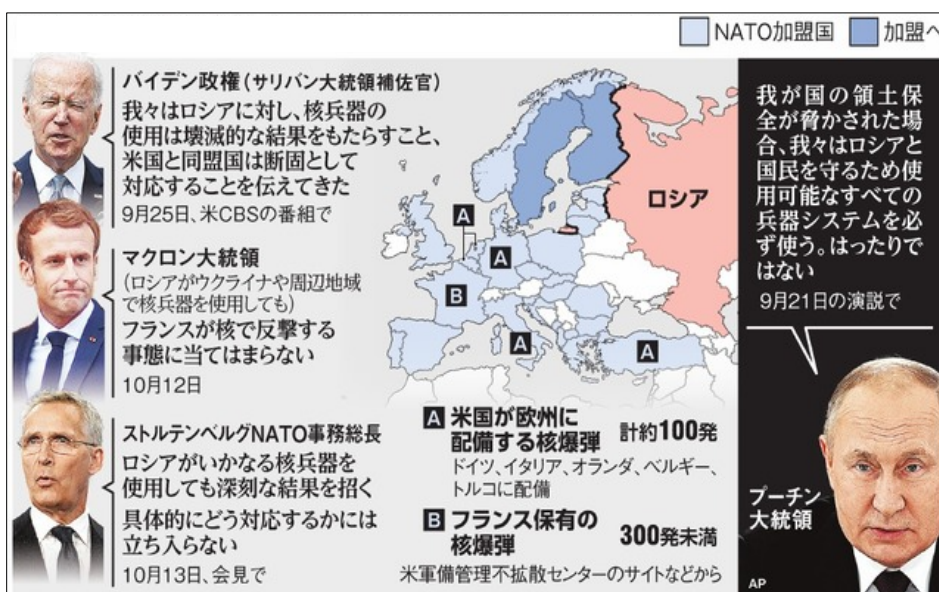
11月15日 ヘルソン市を大統領訪問。ウクライナ、ロシア軍は東部転戦か

11月18日 奪還の街深い傷痕、止まったインフラ、通貨もTVもロシア化
「避難」親口派にせかされて。解放「何よりもウクライナ」、占領耐えたヘルソン市民
11月24日 原発内脅すロシア兵、ザポリージ

ヤ職員証言。怪しまれれば服脱がされ「家族の安全おまえ次第」

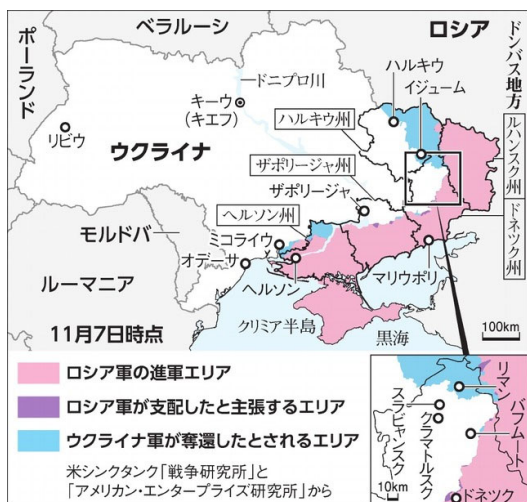
11月25日 ウクライナ侵攻9ヶ月、奪還の街、戻らぬ日常、小麦畑や道路…地雷1,000個。拷問スパイ活動迫られ。各地で停電、冬の生活直撃

図1 ロシアが核兵器を使用したとしたら、NATOはどう対応するのか



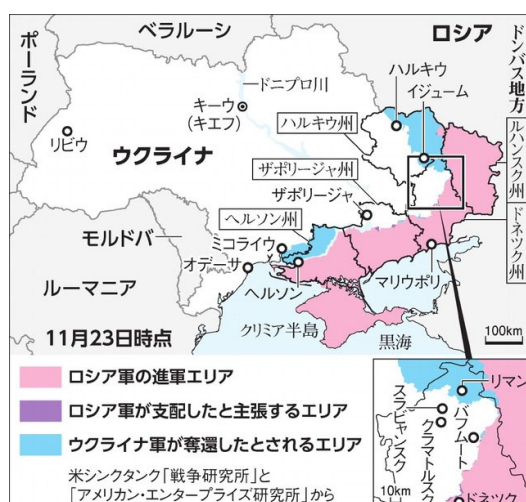
資料：朝日新聞 2022.10.27

図2 ロシア軍の進軍エリア・ウクライナ軍が奪還したとされるエリア



資料：朝日新聞 2022.11.8

図3 ロシア軍の進軍エリア・ウクライナ軍が奪還したとされるエリア



資料：朝日新聞 2022.11.24

5. ソウル（韓国）梨泰院（イテウォン）の悲劇

10月29日の夜、10時15分頃、ソウル市内の繁華街、梨泰院の狭い路地で大勢の人が圧死するという惨事が起きました。

ハロウィンを前にしたこの日、梨泰院には10万人もの人が集まり、密集した群衆が傾斜のある細街路に集中し、1㎡に10人以上もの超密になり、折り重なって倒れ込む群衆雪崩の様相がリアルタイムでニュースに流れました。

死者156人（日本（2人）、イラン、中国、ロシアなど14ヶ国の外国人を含む）、負傷者149人と報じられています（韓国当局発表30日）。

写真5 事故が起きる前のソウルの梨泰院



資料：朝日新聞 2022.10.31

悲劇の起きた現場の路地は、長さ40m、幅3.2m、傾斜のある路地です。道路幅は本来4mであるのに、両側から店が張り出し、3.2mの細街路となったことも今回の大事故の原因との指摘もあります。韓国には友人も多く、ご冥福を祈るばかりです。

大勢の人の集まる都市の弱点については、日本においても改めて検討が求められます。

6. コロナ禍第8波か

この秋、9月、10月に一旦収まるかにみえた新型コロナウイルス感染が、11月に入ってやや拡大に向かい、第8波かと取り沙汰されています。年末、インフルエンザとの同時流行も懸念されます。日本ではいまだ、ほとんどの人がマスクを着けたままの生活です。私などへは5回目のワクチン接種の通知が来ています。

あと半年で海外との往来も自由になり、マスクを外して、密に集まり人間の表情の見える日常空間の回復が期待されます。

表1 世界の新型コロナ感染者

| ■世界の新型コロナ感染者 (11月26日午後5時現在) | | |
|--------------------------------|---------------------------|---------------------|
| | 感染者 | 死者 |
| 米国 | 9856万2304 | 107万9196 |
| インド | 4467万2442 | 53万0608 |
| フランス | 3778万9817 | 15万9679 |
| ドイツ | 3637万3164 | 15万7495 |
| ブラジル | 3514万9503 | 68万9442 |
| 韓国 | 2689万0488 | 3万0330 |
| 英国 | 2459万1146 | 21万2585 |
| 日本 | 2426万8896 | 4万8880 |
| イタリア | 2426万0660 | 18万1098 |
| ロシア | 2125万6669 | 38万3841 |
| トルコ | 1691万9638 | 10万1203 |
| スペイン | 1359万5504 | 11万5901 |
| インドネシア | 664万0624 | 15万9600 |
| フィリピン | 403万0572 | 6万4548 |
| 中国 | 349万1272 | 1万5901 |
| シンガポール | 216万1673 | 1702 |
| 世界計 | 6億4106万9178 (+68万2473) | 662万9849 (+1972) |

感染者の多い12カ国と、日本と往来の多い国。米ジョンズ・ホプキンス大の集計から。カッコ内は前日比

資料：朝日新聞 2022.11.27

2022.12.06